

与野図書館 8 月展示

ラジオ

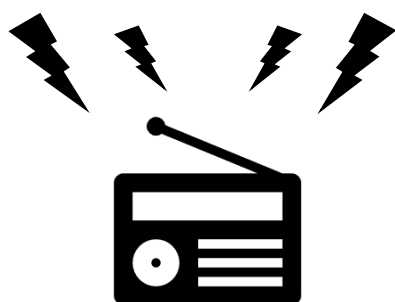
普段、ラジオを聴いていますか。

ラジオは、テレビやスマートフォンと違い聴いて楽しむメディアです。そのため、運転中や家事をしながら楽しめます。

コロナ禍ではラジオパーソナリティの語り口やアシスタントとの掛け合いが孤独を紛らわせてくれるということで話題になりました。

ラジオの魅力はそれだけではなく、地震や台風などによる停電時でもラジオを持っていれば、避難情報などの必要な情報を入手することができます。さいたま市では、災害時のラジオ緊急放送はCityFM さいたま (REDS WAVE)、エフエムナックファイブ (NACK5) から提供しています。

今月は“ラジオ”についての本を展示します。“ラジオ”が登場する小説やラジオ番組、ラジオ制作者についての本を集めました。



『明るい夜に出かけて』

佐藤多佳子／著 新潮社 2016 年

主人公、富山はラジオ界限ではある程度知られたハガキ職人であった。しかし、接触恐怖症による問題から大学を休学し、一人暮らしをしながらコンビニでアルバイトを始める。そんなある日、富山は深夜のコンビニに現れた女子高生が、自分の好きなラジオ番組の有名なハガキ職人であることに気づく。普段は見えない、会えない同じラジオ番組のヘビースナード同士がひょんなことから出会い、わかり合う。富山は過去の出来事から前を向けるのか…。

『午前0時のラジオ局』

村山仁志／著 PHP 研究所 2014 年

『ラジオ・ガガガ』

原田ひ香／著 双葉社 2017 年

『アフタートーク』

石井玄／著 KADOKAWA 2021 年

『ラジオじゃないと届かない』

宮寄守史／著 ポプラ社 2023 年

『教養としてのラジオ用語辞典』

薬師神亮／著 手島伸英／著 三オブックス 2024 年

令和6年8月 編集・発行：さいたま市立与野図書館

(さいたま市中央区下落合 5-11-11)

TEL048-853-7816 FAX048-857-1946

